

1日 水	
2日 木	
3日 金	
4日 土	
5日 日	
6日 月	
7日 火	運動教室 (10:00～11:30 保健福祉センター 13:30～15:00 健康管理センター 19:00～20:30 保健センター) 固定資産税(第1期分)、 水道料金(3月分)納期限
8日 水	
9日 木	4ヶ月、6ヶ月、10ヶ月児健診 (平成30年6月・10月・12月生) (13:00～ 保健センター) かわべほのぼのルーム 「こいのぼり作り」(未就園児) (かわべ保育所 9:45～11:00)
10日 金	

11日 土	
12日 日	
13日 月	元気アップ教室(10:00～11:30 健康管理センター)
14日 火	行政相談(13:00～15:00 社会福祉協議会川辺本所) 心配ごと相談(13:00～15:00 社会福祉協議会川辺本所)
15日 水	
16日 木	
17日 金	腰痛・膝痛サークル (10:00～11:30 保健センター)
18日 土	行政相談 (10:00～12:00 役場中津支所)
19日 日	清掃センター日曜開放日 (8:00～11:30)
20日 月	元気アップ教室(10:00～11:30 保健福祉センター)
21日 火	行政相談 (9:00～11:00 役場美山支所) 心配ごと相談(13:00～15:00 社会福祉協議会中津支所)

22日 水	元気アップ教室(13:30～15:00 保健センター)
23日 木	すくすく教室 (平成30年12月、平成31年1月・2月生) (10:00～ 保健センター)
24日 金	巡回職業相談(13:00～15:00 日高川交流センター) のびのび広場 「園庭あそび」(2歳～未就園児) (なかつ保育所 10:00～11:30)
25日 土	ホテル観賞の夕べ
26日 日	
27日 月	
28日 火	心配ごと相談(13:00～15:00 社会福祉協議会美山支所)
29日 水	2歳児歯科検診 (平成28年12月、平成29年1月・2月生) (13:00～ 健康管理センター)
30日 木	
31日 金	固定資産税(第2期分)、 水道料金(4月分)納期限納期限

1日 土	寒川ワンダフルナイト
2日 日	
3日 月	元気アップ教室(10:00～11:30 健康管理センター) 「人権擁護委員の日」特設相談所開設 (10:00～15:00 保健福祉センター・ 健康管理センター・保健センター)

4日 火	行政相談(13:00～15:00 社会福祉協議会川辺本所) 心配ごと相談(13:00～15:00 社会福祉協議会川辺本所) 運動教室 (10:00～11:30 保健福祉センター 13:30～15:00 健康管理センター 19:00～20:30 保健センター)
5日 水	
6日 木	4ヶ月、6ヶ月、10ヶ月児健診 (平成30年7月・11月、平成31年1月生) (13:00～ 保健センター)

7日 金	
8日 土	
9日 日	
10日 月	元気アップ教室(10:00～11:30 保健福祉センター)

インタビュー形式で町内で頑張っている方を取材します



たくさんの魅力を生かす可能性を秘めているのが日高川町

橋本 祥吾さん「千津川」
お仕事…農業

「地元で農業をすることになったきっかけは？」
元々7年間は町内の会社で勤めていたのですが、実家が農業をしていたこともあり、一大決心の末、農業を継ぐために仕事を辞めました。以前から農業には興味があり、地元をもっと盛り上げていきたいという気持ちで農業を始めました。きっかけになったのだと思います。

「どんな農作物を作っていますか？」
今の時期はウスイエンドウです。他にもブロッコリーや梅、ピーマン、みかんを作っています。

「日高川町の魅力や好きなどころは？」
日高川町は農業が盛んであり、良い人も多くて、自然も豊かです。でも、魅力はこれからと作ってあげたいと思っています。かと思えます。日高川町には魅力がたくさんあるので、これからはどんどん発信していきたいと考えています。たくさんの魅力を生かし、地域が一体となって発信する。それができる可能性を秘めているのが、日高川町ではないかと思っています。

「最後に、広報日高川町を読んでいる方にメッセージなどがありますか？」
たくさんの方に、日高川町への地元愛を持っていただきたいと思っています。

「仕事をしていてやりがいを感じることは、難しく感じることですか？」
農業という仕事はとても地元に着する仕事なので、地元が好きで私にとって地域に貢献できることは、とても魅力的だと思います。地元が集まりで色々な方々と話ができることは楽しく、農業をしていて良かったと感じます。また、私との会話の中で農業の魅力を感じてくれたりした時にもやりがいを感じます。

「難しく感じることは、農業はどうしても天候に左右されるので大変だと思います。ただ、そのおかげで、良いブレッシャーの中で仕事をすることができていると思いますし、そんなところにも農業へのやりがいを感じています。」



ウスイエンドウを採取する橋本さん

「農業は地元愛に繋がりますし、そのためにも私は子供たちから「農業って、ええ仕事やな」と思われるように、この頼もしい仕事を続けていきたいと思っています。若い世代の人たちに、生まれ育った場所を大事にして欲しいという願いがあるので、そうなるように自分も良い姿を見せられるように行動していきたいと思っています。地元愛を持てる子供たちを育てるためにも、町民の方々の協力が必要だと思うので、みんなで頑張ろうと思っています。地元愛で、人と人との繋がりが広がってほしいと思っています。」